

## 2022年度 日本消化管学会 胃腸科専門医 更新申請要綱

### 1. 更新対象者

#### 1. 胃腸科専門医の認定を受けてから5年を経た方

2022年度の更新申請は下記の方々を対象です。

- ・2017年に専門医を取得された方(ただし、休会等の理由によりその限りではない)
- ・2021年に更新保留が認められた方
- ・前年度までの更新保留を解除される方
- ・休会明けで更新を迎える方

※2017年に専門医を取得された方(認定証番号は2017から始まる10桁の番号)は、2022年10月31日に認定期間が満了となるため、専門医継続を希望される場合には、2022年3月1日～4月30日の期間に更新申請が必要となります。

※所定の期日までに認定更新を申請しなかった場合、第15条に定める通り、専門医資格の喪失となります。ただし、第7章第17条に定める通り、認定を受けてから更新までの5年間にやむを得ない事情により更新が出来ない場合は、「専門医更新保留願い」の提出により更新の保留を申し出ることが出来ます。

### 2. 更新要件

1. 継続して本学会の会員であること。
2. 更新時、認定内科医または総合内科専門医、外科専門医または外科認定登録医、放射線科専門医、小児科専門医、病理専門医、救急科専門医のいずれかの資格を有していること。
3. 認定後5年間、委員会が指定した教育企画(JGAの総会学術集会に1回以上、教育講演会(旧教育集会)ならびに指定学会の学術集会)に2回以上参加し、所定単位を総合して50単位取得した者。ただし内20単位は本学会からの単位とする(詳細はHP [jpn-ga.jp/senmoni/](http://jpn-ga.jp/senmoni/)でご確認下さい)。
4. 認定更新の手続き(日本消化管学会胃腸科専門医制度規則第5章第15条)を満たしていること。

### 3. 更新申請期間・送付先

2022年3月1日(火)～4月30日(土)消印有効。

下記学会事務局へレターパック・書留など記録の残る方法で必要書類をお送り下さい。

### 4. 更新申請書類(すべて必須) 下記チェックボックス☑をお使い下さい。

専門医更新申請書

過去5年間(2017年3月1日～2022年2月28日)に取得した所定単位分(本学会総会学術集会は第14回～第18回、教育講演会(旧教育集会)は2017年度～2022年2月までが該当(更新保留解除・休会等の理由の場合、その限りではない)  
(計50単位\*1、内20単位がJGA関連\*2の参加証コピー\*3)

単位有効期限内に学術集会に1回以上、教育講演会(旧教育集会)に2回以上参加

上記、本学会マイページ出欠情報で出席が確認できる参加証のコピーは提出不要です。2020年2月開催までの教育講演会、および他学会の参加証コピーは判読可能な範囲でいくつかまとめてA4用紙に写しを取って下さい。開催日と氏名が判読できる大きさであれば縮小コピーでも構いません。

\*1 所定単位数や関連学会については、「専門医更新単位表」をご確認下さい。

\*2 JGA関連の単位の取得方法は問いません。

\*3 筆頭演者ならびに共著者「単位」の証明は、抄録集の写しを提出して下さい。

### 5. 専門医更新手数料

専門医更新手数料は、20,000円となります。

更新料のお支払については、審査後、2022年10月中に事務局よりご連絡を差し上げますので、案内に従って納入して下さい(既納の手数料は返却しません)。更新料の納入を確認後、更新認定証が発行され、認定更新が正式に完了となります。

裏面に続く

## 6. 注意事項

- ・更新申請書類は不備のないようお送り下さい。
- ・年会費未納がないことが申請の前提となっております。
- ・ご登録の連絡先と申請時の連絡先が異なる場合、今後の連絡が届かない場合があるため、申請前に必ずマイページでご登録情報の変更をお願い申し上げます。

マイページ URL: <https://mypage.jpn-ga.jp>

ログイン後、トップページ右上の「登録情報」「年会費支払歴」をクリック

- ・認定の有無については専門医審議委員会、理事会での審査および最終判断となるため結果通知が10月中旬以降となります。審査の経過を個人的にお知らせすることは致しかねます。

お問合せ・送付先:

日本消化管学会事務局  
(株)勁草書房 コミュニケーション事業部内  
〒112-0005 東京都文京区水道 2-1-1  
TEL:03-5840-6338 FAX:03-3814-6904  
E-mail:jga-secretariat@keiso-comm.com

\*切り取ってレターパック等のあて名にご利用ください。

〒112-0005  
東京都文京区水道 2-1-1  
(株)勁草書房 コミュニケーション事業部内  
日本消化管学会事務局 行  
TEL:03-5840-6338

胃腸科専門医更新 申請書 在中

専門医更新単位表

①、②、③の合計で50単位、そのうち①で20単位  
①のうち、1は1回以上、2,3,4は過去5年間でいずれの組み合わせでも2回以上必須

①本学会主催		出席	筆頭演者
1	日本消化管学会総会学術集会	10	5
2	日本消化管学会教育講演会(2020年2月までの実施分)	5	-
3	日本消化管学会教育講演会(2020年9月からの実施分)	10	-
4	日本消化管学会教育集会(2019年9月までの実施分)	10	-
②関連学会		出席	筆頭演者
1	日本医学放射線学会	3	3
2	日本医学会総会	3	3
3	日本胃癌学会	3	3
4	日本潰瘍学会	3	3
5	日本画像医学会	3	3
6	日本カプセル内視鏡学会	3	3
7	日本癌学会	3	3
8	日本癌治療学会	3	3
9	日本気管食道科学会	3	3
10	日本救急医学会	3	3
11	日本外科学会	3	3
12	日本消化器がん検診学会	3	3
13	日本消化器外科学会	3	3
14	日本消化器内視鏡学会	3	3
15	日本消化器病学会	3	3
16	日本消化吸収学会	3	3
17	日本小児科学会	3	3
18	日本小児外科学会	3	3
19	日本食道学会	3	3
20	日本神経消化器病学会	3	3
21	日本成人病生活習慣病学会	3	3
22	日本大腸検査学会	3	3
23	日本大腸肛門病学会	3	3
24	日本超音波医学会	3	3
25	日本内科学会	3	3
26	日本病理学会	3	3
27	日本腹部救急医学会	3	3
28	日本ヘリコバクター学会	3	3
29	日本臨床外科学会	3	3
30	日本臨床内科医会	3	3
31	日本老年医学会	3	3
32	日本消化器関連学会週間(JDDW)	6	3
33	米国消化器病学会議(ACG)	3	3
34	アジア太平洋消化器病週間(APDW)	3	3
35	米国消化器病週間(DDW)	3	3
36	欧州消化器病週間(UEGW)	3	3
③学術誌		筆頭著者	共著者
1	Digestion誌	15	8
2	日本消化管学会雑誌	10	5
3	Case Reports in Gastroenterology誌	10	5
4	②関連学会1~31が発行する雑誌	5	3
5	消化管に関する外国医学雑誌	8	4
6	大学が発行する機関誌	3	2